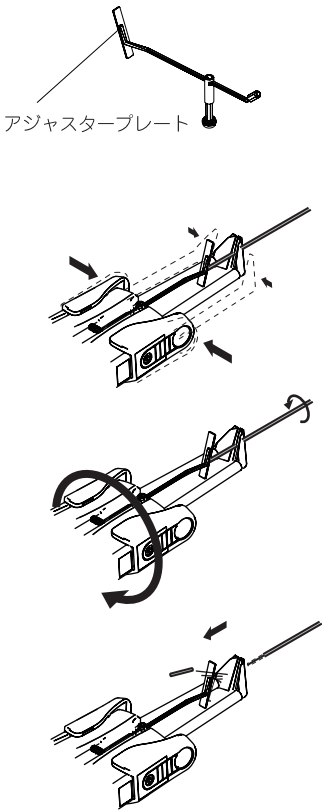


5. 使用方法

●リードアジャスターの使用方法

リードアジャスターはワイヤの剥離長さを設定するための治具です。ブレード先端と、アジャスタープレートの間を剥離したい寸法に合わせてねじを締めて固定します。（設定できる剥離寸法は1～25mmです。）



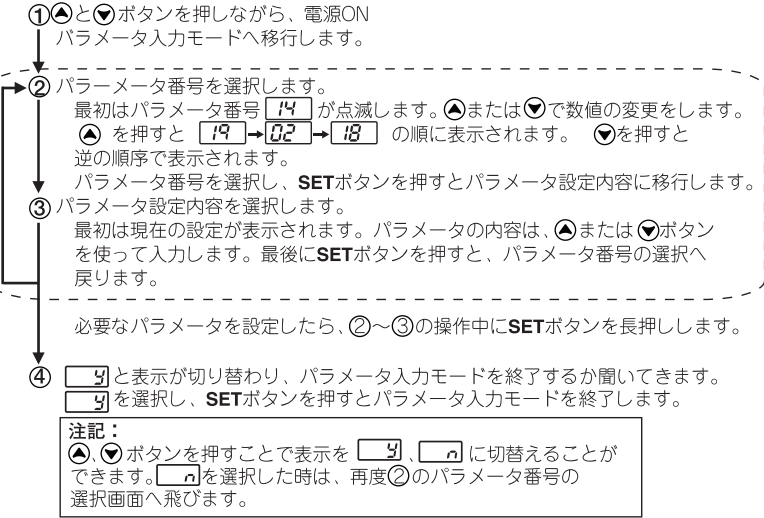
●ワイヤの被覆部の除去

1. ワイヤの先端をリードアジャスターに合わせます。
2. 剥離するワイヤ径に合わせてブレードでワイヤをはさみます。はさんだ部分は熱で溶けます。
3. ワイヤとブレードを回転させて剥離部分に万遍なく熱が行き渡るようにします。
4. 剥離部の端に向けてブレードを引きます。

6. パラメータ設定

●パラメータ入力モードの流れ

パラメータ入力モードは次の通りに行います。



●ハッコー FT-801 は以下のパラメータを持っています。

	パラメータ番号	LED表示	設定内容	初期値
パスワード設定	14	00 or 01 or 02	00：無効 01：一部有効 02：有効	00：無効
		A,b,C,d,E,F (3桁)	01 or 02	---
出力上限設定	19		5%ごとに設定	80
オートスリープ時間設定	02	00 ~ 30	00：無効 01 ~ 30:有効時間	15 (min)
オートシャットオフ設定	18	00 ~ 30	00：無効 01 ~ 30:有効時間	15 (min)

14：パスワード設定

パスワードを設定すると、出力設定値やパラメータ設定値をロックする事が出来ます。パスワードは、A,b,C,d,E,Fの6種類の文字を3桁組み合わせにより設定します。パスワードの設定は3段階に分かれます。

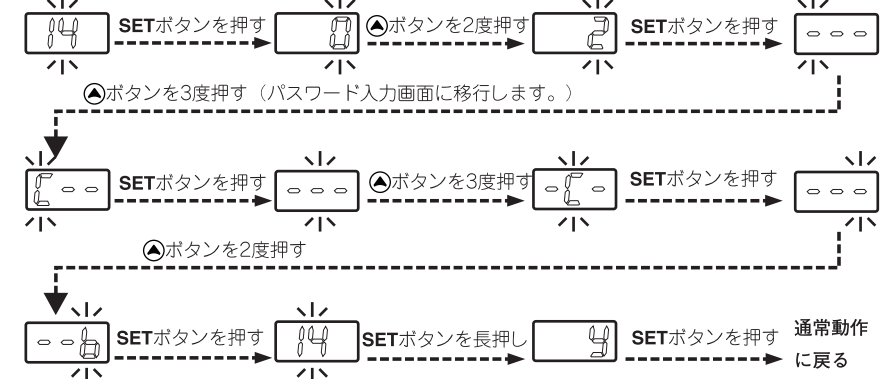
- 00：無効（ロックなし）
- 01：（パラメータ設定にパスワードロックされる。出力設定はロックされないが、出力上限設定が有効になり、設定した値以上の出力設定が出来ない。）
- 02：（出力設定、パラメータ設定すべてにロックされる。）

6. パラメータ設定

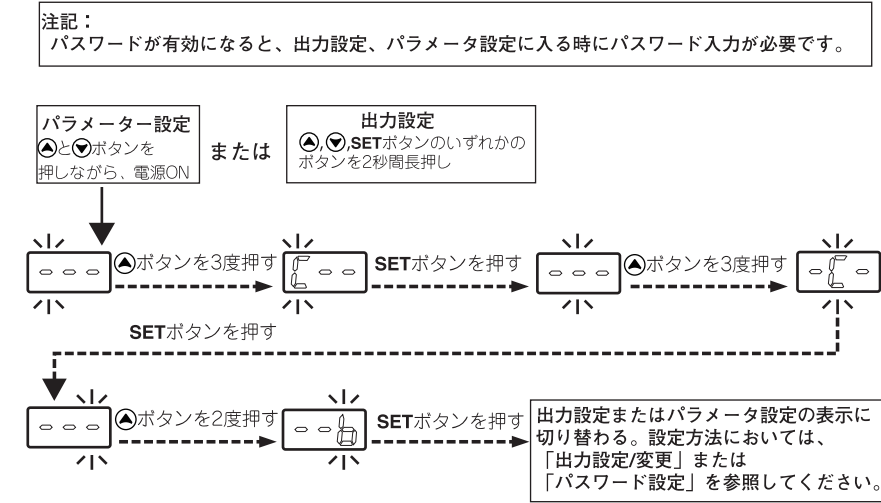
14：パスワード設定

1. 設定方法（パスワード有効時）

例）パスワードを00bに設定する場合。下図を参考にパスワードを設定する。



2. 入力方法（パスワード有効時：パスワード00bの入力）

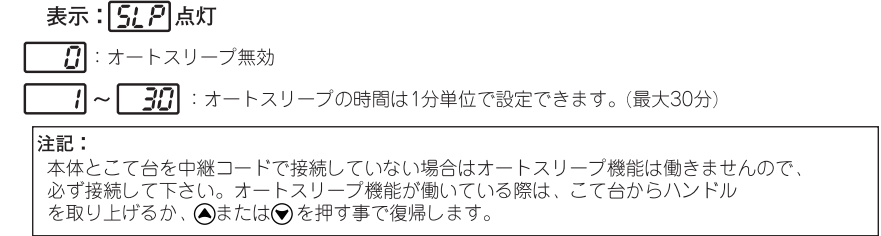


19：出力上限設定

パスワード設定モードが00（一部有効）または02（有効）の時に働きます。パラメータ設定にて設定した値以上に出力設定が出来なくなります。設定値が“80”の場合は出力設定値は“80”が上限となります。

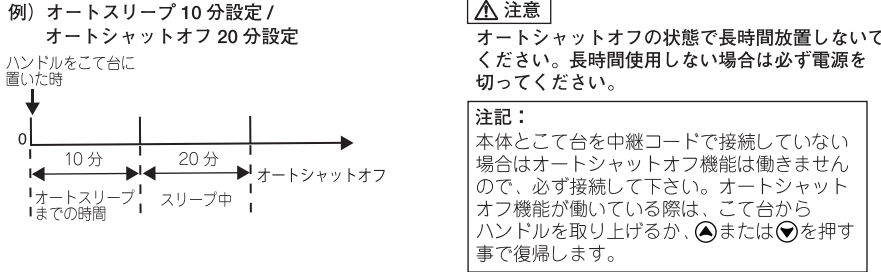
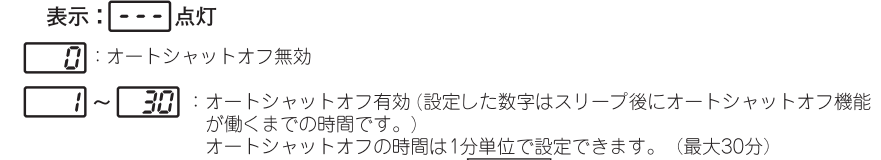
02：オートスリープ時間設定

オートスリープとは設定出力の約50%セーブし、ブレード温度を下げ消費電力を下げます。また、ブレードの寿命を伸ばします。ハンドルをこて台においてから、オートスリープ機能が働くまでの時間を設定します。



18：オートシャットオフ設定

ハンドルをこて台において、何もしないまま一定の時間が経過した際に、オートシャットオフ機能が働きます。出力がオフし、待機状態になります。



7. メンテナンス

製品を長く、よりよくお使いいただくため、定期的にメンテナンスを実施してください。使用する温度等によって製品の消耗の度合いが違いますので、使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。

●ブレードについて

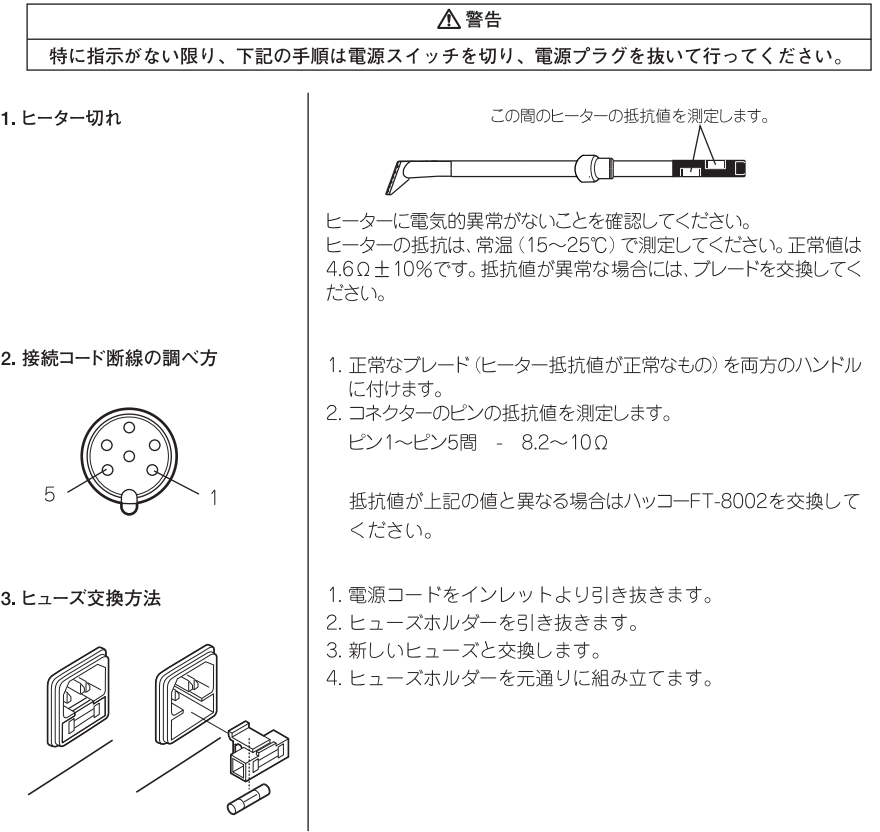
1. メンテナンス

ブレードは酸化しにくい仕様になっていますが、酸化物が付着し作業に支障が出るような場合には、ワイヤブラシなどを軽く当て酸化物を除去して下さい。ワイヤを強く当てると、ブレードが傷付きブレードの寿命を短くする原因になりますので、必要以上のブラッシングはしないで下さい。

2. 中断

ブレードを高温にして長時間無負荷状態のままにしますと表面が酸化され、ヒーターに過負荷が生じ寿命を縮める原因となります。使用しない時はオートスリープに設定し、必ずこて台にハンドルを置いてください。長時間使用しない時は電源スイッチを切ってください。

8. 点検



9. トラブル発生時に

